

北海道の「頂点」に

全日本中学女子軟式野球大会 北海道大会 優勝

札幌シェールズ

たにづめ みのり
谷詰 実紀依 さん

(当別中学校 2年)

兄の影響で始めた野球

4つ上の兄が野球をやっていた影響で、小学2年の冬に当別ウイングスに入団しました。チームメイトや指導者など周りの方が優しくしてくれたので、野球に対する恐怖心は全くありませんでした。小学6年の時にはキャプテンに就任。一番思い出に残っているのは、小学6年の最後の試合です。初戦で負けてしまい、悔しくてみんなとグラウンドで泣いてしまいました。

中学から女子野球に挑戦

中学に入ったら別な事をやってみたいと考え、野球を辞めようと思った時期がありました。野球を続けたのは両親の後押しのおかげで、別の視点から野球を見るように言われ、女子野球の世界に飛び込みました。私が所属する札幌シェールズは、全道各地から小学生から社会人までが集まったチームで、私は中学生の副キャプテンを務めています。平日も土日も練習がありますが、チームの練習がない日は学校の野球部の練習にも参加しており、野球漬けの毎日を送っています。

みんなで楽しめる最高の競技

ポジションはセカンドを中心に、ピッチャーとしてマウンドに立つこともあります。野球をする際に大切にしていることは、声を出して周り確認し合うことです。チームメイトと声をかけ合いながら、難しいプレーができて、アウトが取れた時が一番楽しいです。

全国大会優勝を目指して

全道大会の決勝戦では前日から緊張して、最初の打席で三振してしまいました。二打席目でバントを成功できて気持ちが切り替えられ、その後の打席でタイムリーヒットを打って勝つことができました。8月に行われるはずだった全国大会は、コロナの影響で中止となってしまいましたが、近々代替の全国大会が石川県で開催されます。全国大会でも声を出すことを忘れずに、一戦一戦全力で臨んで優勝してきます！



↑野球を始めたばかりの頃(小学2年生)



↑今ではシャープな打撃でヒットを量産



↑全道大会でも活躍して優勝！
(後列右から3人目が谷詰さん)

立った二人の中学生

北海道中学校陸上競技大会 男子棒高跳 第1位

西当別中学校陸上部

たぢか
田近 剛 さん

(西当別中学校3年)



友人に誘われて始めた陸上

小学3年の時に札幌から西当別に引っ越してきました。子どもの頃から身体を動かすことが大好きで、友人に誘われて西当別RCで陸上を始めました。最初から棒高跳をやっていたわけではなく、小学校中学年までは100m走や800m走など、走ることが専門。高学年からは走幅跳を始め、大会に出場していました。

陸上部の恩師にも支えられ

棒高跳を始めたのは中学生になってからで、きっかけは2つ上の先輩がやっているのを見て、自分も同じように高く跳んでみたいと思ったからです。陸上部顧問の石田先生は棒高跳のマスターズ北海道記録を持っており、分からないことは何でも教えてくれました。また、先生が揃えてくれた器具のおかげで、普段の部活でも練習することができました。

高さの恐怖の先にある感動

棒高跳は全身の筋肉を使ってしっかりと踏み込み、ポールが反発する力を使って高く飛び上がります。身体能力はもちろんですが、ポールを操る技術も必要となります。踏切の際には体重の3倍以上の重力がかかるので、とてもケガの多い競技ですが、バーを飛び越えられた時の喜びは言葉には言い表せません。

強い気持ちを持ってリベンジ

棒高跳は3回失敗すると次に進めないのですが、今回の全道大会では3m40cmで2回連続失敗。自分は体格は大きくないですが、メンタルには自信があるので「次は絶対飛べる！」と思って挑み、3回目で成功することができました。続く3m50cmは1回で飛ぶことができ、優勝。標準記録に届いていなかったため、全国大会には出場できませんでしたが、その夢は高校で叶えたいと思います。混成競技にも興味があるので、高校では八種競技に挑戦してみたいです。



↑小学6年生の時に走幅跳で入賞



↑中体連石狩管内大会で優勝した時



↑走幅跳でも通信陸上大会第2位に！